

確認テスト

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

【事例】

Eさん、80代、女性、グループホーム入所。アルツハイマー型認知症

10年前に夫を亡くしてからは独居生活。子供2人は県外に在住。3年ほど前から認知症の症状が進行してきたため、独居生活の継続が困難となり、1年前からグループホームに入所。入所後しばらくして帰宅願望の訴えがみられるようになる。夕方になると「ここにいてもすることがない。家に帰りたい」「家で夫や子どもたちが待っているから帰らんと」などの訴えがある。職員が「お家に帰られても誰もいらっしゃいませんし帰れませんよ。ここがEさんのお家なんですから、ゆっくりとくつろいでください」と説得するも、「誰もいないはずないでしょうが！夫が仕事から帰ってくるし、子どもたちもお腹を空かせて待っているの！」と怒ってしまった。

1) 帰宅願望の原因として考えられることは？認知症が及ぼす影響（中核症状）や心理面・身体面・環境面の影響など、原因として考えられることをあげてみましょう。

2) この職員の対応をどう思いますか？問題と思う点をあげてください。

3) あなたならどう対応しますか？適切な対応方法を考えてみましょう。

確認テスト 解説・解答例

- 1) 帰宅願望の原因として考えられることは？認知症が及ぼす影響（中核症状）や心理面・身体面・環境面の影響など、原因として考えられることをあげてみましょう。
- 2) この職員の対応をどう思いますか？問題と思う点をあげてください。
- 3) あなたならどう対応しますか？適切な対応方法を考えてみましょう。

1)

① 認知症による影響

アルツハイマー型認知症による症状（見当識障害・判断力低下・記憶の混乱など）が影響している。なぜ自分がここにいるのかが分からなくなっていたり、ここがどこか分からない、また記憶障害によって生きている時代が遡っていることが帰宅願望につながることもある。

② 心理面や身体面、環境面の影響

- ・ 今いる場所の居心地が悪く、不安・ストレスが溜まっている
- ・ ここは自分がいるべき場所ではないと感じている
- ・ 知らない人を話すのが苦痛である
- ・ 自分のペースで生活できず苦痛を感じている
- ・ 心配事を抱えており「ここにいるわけにはいかない」と感じている
- ・ 今までの生活の名残りで、忙しい夕方の時間になると「こんなにのんびりしている場合ではない」と感じている

など

2)

「帰れない」「家には誰もいない」などと事実を告げても本人は理解できず、その時の嫌な感情だけが残ってしまう恐れがある。帰宅願望の訴えは、本当に家に帰りたい場合ばかりではなく、今いるこの場所にはいたくない、他のところに行きたいという意味が含まれていることを念頭に対応する必要がある。

3)

- ・ 「旦那さんやお子さんがお待ちなんですね、Eさんを頼りにしているんですね」と本人の言うことを繰り返す
- ・ 「そうでしたね。ところで、とてもおいしいお菓子とお茶がありますよ、いかがですか」と本人の帰宅したいという気持ちをそらす
- ・ 帰りたい理由を聞き出し、それに合った対策を考える
- ・ ここは安心して暮らせる場所だということを言葉や表情で伝えて信頼関係を築く

など

※ここにあげている対応方法はあくまで一例であり、「正解」ではありません。